

平成 18 年 2 月

## 試験研究業務月報



デントコーンの葉腋にアザミウマ類の天敵であるハナカメムシ類が産卵して増えることがわかりました。

### バンカープランツの減農薬防除素材としての評価

農作物に被害を与える微小害虫（アザミウマ類やアブラムシ類）の発生を、ソルゴー等障壁作物を利用して抑制する栽培方法が広がりを見せています。防除対象とする害虫により、用いるバンカープランツの種類を変えたり、組み合わせることにより、さらに高い効果が得られないか調査しました。その結果アザミウマ類を対象にする場合にはデントコーンを、アブラムシ類を対象にする場合にはソルゴーを利用することで、より高い効果が期待できると考えられました。メリット、デメリットを検証し、どの作物にバンカープランツとして適用するかを検討を今後進めます。

農業総合研究所